

## 御 挨 拶

京都府高等学校体育連盟  
両丹支部長 宮 下 繁  
(京都府立福知山高等学校長)

令和3年度京都府高等学校体育連盟「高体連誌第61号」の発行にあたり、御挨拶申し上げます。両丹支部各加盟校及び各専門部の皆様、並びに各競技団体をはじめ関係諸機関の皆様には、両丹支部の活動に御支援、御協力を賜り、誠にありがとうございます。また、この間格別の御指導と御支援をいただきました会長の村上昌司様をはじめとして、本部事務局、関係のすべての皆様にご心より感謝申し上げます。

さて、本年度は4月に緊急事態宣言が発令され、5月の両丹高等学校総合体育大会が中止となりました。その後、一旦感染状況が落ち着いたものの、夏に第5波が到来し、9月の両丹高等学校定時制通信制総合体育大会及び11月の両丹高等学校駅伝競走大会が中止となり、その後冬の第6波の影響で、1月の一般生徒対象事業も中止となりました。つまり、両丹支部に関する事業がすべて中止という、異例の事態となりました。

ただ、そのような中でも、各専門部においては全国大会及び近畿大会、さらにはそれらに繋がる公式大会が実施され、多くの生徒に限られた環境の中で精一杯練習に励んだ成果を発揮してくれました。そして全日制では、全国高等学校総合体育大会において、ウェイトリフティング競技女子学校対抗で宮津天橋高校が優勝、同じくウェイトリフティング競技男子67kg級で海洋高校の川崎涼雅選手、男子73kg級で海洋高校の東楽映選手、女子59kg級で宮津天橋高校の下村愛里選手、女子76kg級で宮津天橋高校の長島和奏選手が、見事優勝に輝いています。定時制通信制では、陸上競技、卓球、ソフトテニス、バドミントンで両丹の学校が全国大会に出場しています。これらの選手をはじめとして両丹地域の多くの選手が、熱心に取り組み、力を発揮して活躍してくれました。このすばらしい結果は、各選手の努力の成果であることは言うまでもありませんが、各校で御指導いただいた顧問の先生方、大会を運営して下さった専門部の皆様の御尽力の賜物であると、深く感謝申し上げます。

本年度は夏季及び冬季のオリンピック・パラリンピックが開催されました。コロナ禍の中での開催ではありましたが、活躍する選手の姿を見ると、スポーツのすばらしさ、目標に向かって諦めずに努力を積み重ねることの大切さなどを改めて感じさせられました。これを刺激に、各校・各部の高校生が、自分を磨き、競技力だけでなく人間力も高めてくれることを期待したいと思います。そして、コロナ禍が早く収束し、制限なく思い切りスポーツができる日が一日も早く来ることを願っております。

結びに、今後も両丹支部の取組に御理解と御支援をいただきますようお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。